



日本家族看護学会

Japanese Association for Research in Family Nursing

International Exchanges Committee
Newsletter - February 2021 Vol. 2

■委員会だより

第27回日本家族看護学会学術集会にて、「国際学会発表のすすめ－家族看護のネットワークを世界に広げよう－」と題して交流セッションを開催しました。ご参加いただいた皆さんありがとうございました。国際学会で発表したり、質問したりする時、パーフェクトな英語やスキのない発表をしなければ…と構えてしまい、「英語がうまくなったら…」などと躊躇しがちですが、英語が下手でも興味・関心をもって、海外の研究者との出会いの場と思ってチャレンジすることが重要ということ、参加された方と共有しました。今回のセッションでは、国際学会での発表経験のある方のご参加がほとんどでしたが、「どのくらい通じたかな」と悩むことがある一方、日本の研究の国際発信が必要というご意見をいただきました。今後も会員の皆さんの国際学会等への参加を後押しする企画を考えていきたいと思っております。

■活動紹介

NCFR の紹介

The National Council on Family Relations (NCFR) は 1938 年に設立された家族の研究、実践、教育に焦点を当てた、最も古い非営利、学際的な専門家協会です。NCFR の会員は、35 개국から集まっており、看護だけでなく、家族に関する様々な学問領域 (Family Science、Family Life Education、marriage and family therapy、sociology、psychology、anthropology、social work)、大学、カウンセリング、ヒューマンサービスなどで働く専門職者です。NCFR は、3 つの学術誌を有しており、学術集会も開催しています。Family Life Educator の資格認定や会員向けのウェビナーなどのコンテンツも充実しており、会員同士の交流の場であるディスカッショングループや、メーリングリストも活発に運営されています。ウェビナーでは、「Using Advanced Online Survey Methods to Collect Specialized Family Science Data」「Strategies for Teaching Family Theories」など興味深いウェビナーを受講することができます。看護だけに留まらず、他領域の研究者や実践家と交流ができるのは、魅力的ではないでしょうか。

<https://www.ncfr.org/>

■世界の車窓から

“Nursing Now”、今こそ！

2020 年は看護にとって大変意義深い年でした。WHO が看護師・助産師の国際年と定め、世界看護状況報告書が発行されました。そして、イギリスから始まった“Nursing Now” キャンペーンに世界中から 700 以上のグループが参加し、2020 年は最終年として様々なイベントが WHO・ICN (国際看護師協会) を中心に計画されていました。しかし、COVID-19 パンデミックによりキャンペーン活動ができなくなり、WHO はこれを 2021 年 5 月まで延長し、その後、ICN がこれを引き継ぐことになりました。日本では 2021 年 1 月に Nursing Now フォーラム・イン・ジャパンが Web 開催され、訪問看護や災害などにおける看護の貢献とエビデンスに基づく政策提言の重要性などが議論されました。Nursing Now は、看護師が本来持つ力を発揮することで Universal Health Coverage に貢献できるという趣旨です。COVID-19 によって看護にますます期待が寄せられています。これを機に、家族看護の重要性も多くの人々に知っていただきたいです。

¹<https://www.nursingnow.org/>

²https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing_now/nnci/event/index.html



■NEWS

第15回国際家族看護学会についてのお知らせ

国際交流委員会は活動の一つとして、International Family Nursing Association (IFNA) との連携をあげています。Covid-19 の状況の中、すでに昨年オンライン開催が決まっており、2021 年 6 月 28 日から 7 月 2 日まで開催されます。テーマは『Family Nursing Throughout the Life Course (ライフコースにわたる家族看護)』です。毎回、会期日時前日に、プレコンファレンスワークショップと称して、半日から 1 日のワークショップが受講できます。今回もグローバルな実践者・研究者・教育者による興味深いセッションが多数企画されています。オンラインで参加もしやすいと思っておりますので、ぜひ家族看護の視野を世界にまで広げる機会としてください。

<https://internationalfamilynursing.org/2020/11/23/ifnc15-pre-conference-workshops/>

国際交流委員会メンバー：●委員長：池田真理

●委員：荒木暁子、上野里絵、本田順子、山花令子、山本弘江